

令和6年度 第1回 稲城市子ども・子育て会議 議事録（要旨）

開催日時 令和6年7月10日（水）13時58分～15時48分

開催場所 マスヤビル2階 205号室

出席者

【委員】※五十音順（敬称略）

	氏名	区分	組織名
会長	市野 繁子	学識経験者	駒沢女子短期大学保育科教授
副会長	伊藤 裕子	教育・保育施設関係団体	私立保育園園長代表 (若葉台バオバブ保育園園長)
	安東 絵美	教育・保育施設関係団体	認可外保育施設代表 (ピノキオ幼児舎園長)
	角田 享	教育・保育施設関係団体	認定こども園代表 (学校法人子どもの森理事長)
	師岡 志織	保健福祉関係機関	稲城市社会福祉協議会 (貧困に関する有識者)
	舟木 素子	保健福祉関係機関	東京都南多摩保健所 所長
	橋 謙太	福祉関係団体	稲城市青少年委員 (青少年・若者に関する有識者)
	奈良部 義彦	労働者代表者	稲城市商工会代表
	岩本 綾華	児童福祉関係機関	学童クラブ代表 (学校法人東京青葉学院エリアマネージャー)
代理 出席	溝口 孝史 (代理 清野)	子どもの保護者代表	稲城市立学校 PTA 連合会代表
	村上 容子	子どもの保護者代表	稲城市私立幼稚園連合会 (コマクサ幼稚園保護者)
	寺島 彰	一般公募	市民委員

※欠席委員：石井 篤司（教育・保育施設関係団体）、佐藤 久美子（福祉関係団体）

※傍聴席：2名

【事務局】子ども福祉部長：岡野、児童青少年課長：勝野、子育て支援課長：森、子ども家庭支援センター課長：野木、おやこ包括支援センター係長：渡邊（課長代理）、障害福祉係長：森橋（課長代理）、生涯学習課長：工藤、教育総務課長：涌田、児童青少年課青少年係長：武内

- 配付資料**
- 資料1 稲城市こども計画策定スケジュール
 - 資料2 これまでの経過について
 - 資料3 こども大綱(概要版)
 - 資料4 「稲城市こども計画」(表紙～第3章)
 - 資料5 基本理念案
 - 別添1 令和6年度第3回稲城市子ども・子育て会議 日程調整表

議事の要旨

1 稲城市こども計画スケジュールについて

事務局から、資料1に基づき説明があった。

事務局	第二次策定時には、市民説明会を行っている。 その時も事務局は実施しないことで提案したが、委員からやっていたことをやめるのはマイナスイメージとなるとの意見があり、結果、市民説明会を実施している。 今回改めて事務局としては、市民ニーズ調査を行っていることや今後、市民意見公募を行うこと、また各団体の代表者に子ども・子育て会議にて意見をいただくことから、市民説明会は実施しないこととしたいが、いかがか。
委員	特に意見なし。今後、何かあれば、この場にて検討とする。

2 これまでの経過について

事務局から、資料2に基づき説明があった。

3 こども大綱(概要版)について

事務局から、資料3に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	表面上だけみたときに、今までの第一次・第二次と項目はどう異なるのか。 流れもどうなってくるのか関係性を整理してほしい。
事務局	こども大綱を読み込み、確認を行いながら、内部で検討中。 これまでのものは、引き続き溶け込ませていき、こども大綱を意識して新規のものがあれば取り込んで進めていく予定。
委員	これまでの事業はこれまで通りに進めていき、中身の変更や新規のものがあればその都度、結果・途中結果を報告してもらおう認識で良いか。
事務局	変更や新規のものがあればその都度報告していく。

4 「稲城市こども計画」(表紙～第1・2・3章まで)について

事務局から、資料4に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	第2章の基本理念は改めて意見を募っていくということで良いか。
事務局	次の資料5にて改めて説明、案内させていただく。
委員	第3章のP22～24で認可保育所、認定こども園と幼稚園の数が重なっているように思う。不明瞭なので、説明を加筆してほしい。別々の施設と捉えられてしまうかもしれない。
委員	第3章のP24の幼稚園の注2・3のところで、定員に満3歳児含む、含まずと記載があるが、満3歳を受け入れている幼稚園もある。表の記載をわかりやすくしてほしい。
子育て支援課	整理し、記載を検討していきたいと思う。
委員	小規模保育事業の記載がないが、記載しなくても良いのか。
子育て支援課	小規模保育事業は、稲城市にはないので掲載していない。

委員	ニーズ調査に認可外保育所がないが、記載しなくても良いのか。
子育て支援課	前回にも記載がないので、記載をしていなかった。 確認し、検討していく。
委員	ニーズ調査に関して回答数、回収率が全体的に低い。特に青少年・若者の部分が低い。結果としてはどうなのか、原因となった理由を知りたい。
事務局	妊娠届出をした方向けの母数が、少なくなっていることで回収率が高くなっており、青少年・若者の方向けの母数が大きいために回収率が低く出てしまう。紙、QRコードにて配布を行ったが、明確な理由が捉えられていない。 声の聞き方の一つとしてアンケートを行ったが、事務局としてもこども・若者の回収率の低さは気にはしている。こども計画に指標や目標値を載せるようガイドラインに示されている。今後、改めてこども大綱にある指標についてこども・若者を対象に稲城の現状を直接聴くことができなにか検討を行っていききたい。
委員	ニーズ調査にて就学前児童と範囲が広がってしまうと、幼稚園を利用していない方も増えて、前は「利用していないが利用したい」と答えていた方が多かったが、「利用していない」と答えた方が多かった。どこかに所属している方と所属していない方を分けるべきだと思った。
事務局	次回に反映できるように意見を活かしていきたい。
委員	青葉幼稚園・梨花幼稚園がどこに所属するのか。
事務局	担当部署が意見を反映していく。
委員	P28の図表の上下の表の書き方について。
事務局	既に業者に修正依頼は行っている。
委員	少子化の動向データが掲載されているだけになっているので、その先の理由がない。DV等は、離婚率にも関わってくると思うので、どれくらいの件数があるのか、離婚に至った経緯を明確にしてほしい。また、女性の未婚率が高い理由や必要なデータを掲載してほしい。障害者やジェンダーレス、LGBTQ+等の視点を意識して次期計画に盛り込んでほしい。
事務局	第2回の子ども・子育て会議以降に検討していく内容となる。 今回の第1回では、大まかな内容を決めていき、細かい部分は次回の第2回以降に第4章として体系図や第3回以降に具体的な事業や取り組みなどをお示しする予定。 担当部署と検討しながら進めたい。
委員	第一次、第二次から比較的漏れているようなこどもの発達障害や、こどもの不登校など社会で話題な部分は、今回のこども計画では網羅したい。
事務局	障害に関すること、教育に関することなどは市の各担当課においてそれぞれ行政計画を策定している。それぞれの計画に載る内容をこども計画でどこまで載せていくか、今後検討するが、意識しながら作り込んでいきたい。
委員	今回の意見は、今後にも参考にしていきたい。
委員	P7の国・都の動向だが、エンゼルプラン等が抜けていると思う。
委員	最近のことだけ抜粋されているので、他の計画等を見比べてみてほしい。 流れが表になっているものがある、含めて掲載してほしい。
事務局	確認し、検討していきたい。

5 基本理念案について

事務局から、資料5に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	表紙のこども計画のサブタイトルにこどもまんなか社会に関することを入れ、ページ内に記載する基本理念はまた別の文言を記載しても良いのではないかな。
委員	④の子ども・若者は自分らしくみたいな表現が多様性の意味合いを含むので良いのではないかな。
委員	最後、完成したところで基本理念を決めてもいいと思う。
事務局	第2回以降の子ども・子育て会議で意見を伺いたいので、次回までに考えておいてほしい。
事務局	今回のこども計画では、平仮名こどもの表記を使用している。 国の通知に従って決めていきたいので、今後は平仮名こどもになっていくと思うが、これまでの使用していた法律・要綱・組織名称などは、これまで同様、漢字の「子」平仮名の「ども」とする。計画の中で漢字表記と平仮名表記が入り混じってくると思う。

6 その他

事務局から、別添1に基づき説明があった。

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	25日(水)以前の日付には行われなさそうかな。
事務局	庁内策定委員会を経たからの子ども・子育て会議となるのでおそらく以前の日付での開催は難しいと思う。だが、出席できる方が少ない場合には、再度改めて日付を検討したいと思う。